



日本文化財科学会第37回大会 サードサーキュラー

2020年8月7日発行

日本文化財科学会第37回大会のご案内

日本文化財科学会 会長 泉 拓良
第37回大会実行委員会 委員長 飯沼 賢司

はじめに

日本文化財科学会第37回大会につきましては、新型コロナウイルス(COVID-19)対策の観点から、WEB開催にて実施することとなりました。行き届かない点もあるかと存じますが、何卒ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1. 開催期間

2020年9月5日(土)9:00～2020年9月13日(日)17:00

2. 開催概要

WEB上に口頭発表並びにポスター発表の資料データを掲載し、要旨集と合わせて閲覧いただくことで、通常の大会時に準じた情報を得られるようにいたします。また、通常の大会時には異なる会場の同時刻の発表については視聴できませんが、今回の方法では全ての発表内容が閲覧可能となります。興味のある発表をじっくり閲覧いただくために、開催期間を9日間設けさせていただきました。なお、特設HPの内容は以下ようになります。

- ・ 特別セッション動画
- ・ 研究発表(口頭発表資料およびポスター原稿)
- ・ ワーキンググループ開催案内
- ・ 企業広告リンク

3. 発表に対する質問受付方法

発表内容に対する質問を希望される方は、各発表資料の最終頁に記載されている連絡先(メール等)に直接ご連絡ください。なお、事務局での仲介はいたしかねますので、当事者間にて行うようにしてください。また、発表者様の事情によって質問の受付が困難な場合には、連絡先の記載がございませんので、何卒ご容赦ください。

4. 参加にあたっての注意事項

- ・ 特設HP上に掲載されている発表資料については、閲覧のみ可能となり、データのダウンロードなどはできない形となっております。
- ・ なお特設HP上に掲載されている発表資料・写真・動画等につきましては、各発表者の著作権等が発生します。違法なダウンロードや転用など全て禁止いたします。

5. 参加登録について

8月20日まで参加登録を受け付けております。ご登録がまだの方は、この機会にぜひお申込みください。

<お申込み手順>

1. 学会HP内、大会特設ページの「参加者用 大会申し込みフォーム」からご登録ください。
2. 参加登録費を8月20日までに

ゆうちょ銀行

(口座記号番号) 00920-5-324699

(口座名称) 日本文化財科学会大会実行委員会

(口座名称カナ) ニホンブンカザイカガクカイトイカイジッコウイインカイ

までお振込みください。

参加登録費用は 正会員4000円、学生会員3000円、非会員(一般)6000円、非会員(学生)3000円となっております。

*詳細はセカンドサーキュラーをご覧ください。

http://www.jssscp.org/2020conf/media/second_circular_jssscp_2020.pdf

【問い合わせ先】

日本文化財科学会第37回大会実行委員会事務局

E-mail:jssscp2020@gmail.com

日本文化財科学会第37回大会実行委員会

委員長:飯沼 賢司(別府大学)

事務局長:渡辺 智恵美(別府大学)

実行委員:富岡 直人(岡山理科大学) 細川 金也(佐賀県立博物館) 村上 浩明(株式会社とっぺん)

木川 りか(九州国立博物館) 加藤 和歳 小林 啓(以上、九州歴史資料館)

比佐 陽一郎(福岡市経済観光文化局) 山路 康弘(大分県教育庁文化課)

石川 優生(大分県立歴史博物館) 神田 高士(臼杵市教育委員会)

秦 広之(別府市教育委員会) 篠藤 マリア(ハイデルベルク大学大学院)

西村 靖史 段上 達雄 下村 智 白峰 旬 田中 裕介 上野 淳也 篠崎 悠美子

玉川 剛司 (以上、別府大学)

要旨集編集協力:青木 智史(天理大学附属天理参考館)

※セカンドサーキュラー以降、若干の変更がありましたので、最終プログラムはこちらをご覧ください

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

大会挨拶

日本文化財科学会 会 長 泉 拓良
第37回大会実行委員会 委員長 飯沼 賢司

特別セッション

1. 文化財の3D計測とその活用 (40分)
玉川 剛司(別府大学文化財研究所)
3D measurement of cultural assets and its utilization
TAMAGAWA Tsuyoshi(Beppu University Research Institute for Cultural Properties)
2. 地図の3D化 - 航空レーザー測量による文化財保護・考古学研究の可能性 (40分)
篠藤 マリア(ハイデルベルク大学大学院)
Topography in 3D: Possibilities for archaeological research and monitoring of cultural heritage based on LiDAR data
SHINOTO Maria(Universität Heidelberg)

口頭発表

セッション1		座長 坂本 稔(国立歴史民俗博物館) 庄田 慎矢(奈良文化財研究所)
年代測定	O-001	奈良・平安・鎌倉時代の金泥・銀泥経とされる古写経の放射性炭素年代測定:美福門院願経(荒川経)の書写年代を中心に ○小田 寛貴、西山 要一、池田 和臣 Radiocarbon dating of the ancient sutras which are considered to be written with the gold and silver paint in the Nara, Heian and Kamakura periods: Focusing on the paleographical age of Arakawa sutra ○ODA Hirotaka,NISHIYAMA Yoichi,IKEDA Kazuomi
	O-002	能登半島の北部に位置する真脇遺跡で出土した多量の木材遺物の C年代編年 ○中村 俊夫、西本 寛、木村 勝彦、南 雅代、高田 秀樹 Radiocarbon chronology of wooden materials excavated at the Mawaki Site of the Noto Peninsula. ○NAKAMURA Toshio,NISHIMOTO Hiroshi,KIMURA Katsuhiko,MINAMI Masayo,TAKADA Hideki
	O-003	四国西南地域における縄文弥生移行期の雑穀類の年代学的研究 ○遠部 慎、柴田 晶児、宮里 修、蔵本 晋司、竹原 弘展、宮田 佳樹 A chronological Study of millets from the Jomon toYayoi Periods in Shikoku Southwest Region ○ONBE Shin,SHIBATA Shouji,MIYAZATO Osamu,KURAMOTO Shinji,TAKEHARA Hironori,MIYATA Yoshiki
セッション2		座長 富岡 直人(岡山理科大学) 上條 信彦(弘前大学)
古環境	O-004	樹木年輪酸素同位体比を用いた先史時代の気候・農業生産・人口の変動シミュレーション ○中塚 武 Simulation of prehistorical variations in climate, agricultural production and population using tree-ring oxygen isotopic ratios ○NAKATSUKA Takeshi
	O-005	稲作の視点から見た良渚遺跡群における土地利用と土地開発 ○宇田津 徹朗、田崎 博之、渡部 展也、大庭 重信、劉 斌、王 寧遠、鄭 雲飛 The study about the land use and land development for rice cultivation at the Liangzhu site group ○UDATSU Tetsuro,TASAKI Hiroyuki,WATANABE Nobuya,OBA Shigenobu,LIU Bin,WANG Ningyuan,ZHENG Yunfei
	O-006	奈良盆地における植生と環境および農耕の変遷 ○金原 正明、岡田 憲一、金原 正子 Changes in vegetation, environment and agriculture in the Nara Basin ○KANEHARA Masaaki,OKADA Ken'ichi,KANEHARA Masako
セッション3		座長 佐々木 良子(嵯峨美術大学) 志賀 智史(九州国立博物館)
材質・技法	O-007	材料と構造分析からみる古墳出土染織文化財の様相ー奈良県の前期古墳から後期古墳の様相ー ○奥山 誠義、北井 利幸、勝川 若奈、小倉 頌子、沢田 むつ代、足立 茂寛、河崎 衣美 The Study of material and structure about archeological textiles excavated from tomb located in Nara prefecture ○OKUYAMA Masayoshi,KITAI Toshiyuki,KATSUKAWA Wakana,KOKURA shoko,SAWADA Mutsuyo,ADACHI Shigehiro,KAWASAKI Emi
	O-008	正倉院宝物・花氈に用いられた染料のHPLC法による化学分析 ○中村 カ也 Dye analysis used for the felt rugs with floral designs stored in the Shosoin by HPLC method ○NAKAMURA Rikiya
	O-009	高精細デジタル顕微鏡による科学分析が明かす浮世絵用紙の姿 ○江南 和幸、岡田 至弘、日比谷 孟俊、佐藤 悟、横井 孝、澤山 茂、徐 小潔 Scientific Analysis of Paper used for Ukiyoe ○ENAMI Kazuyuki,OKADA Yoshihiro,HIBIYA Taketoshi,SATO Satoru,YOKOI Takashi,SAWAYAMA Shigeru,Xu Xiajie
	O-010	モンゴル国突厥時代Zaamar古墳出土土人型塑像顔料の調査 ○柳 成煜、オドワァ アンガラグスレン、今津 節生、成瀬 正和 A Study On Pigments of Clay Figures Excavated From Zaamar tomb Of Mongolian Turkish Period ○RYU Sungwook,ODKHUU Angaragsuren,IMAZU Setsuo,NARUSE Masakazu

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

口頭発表

セッション4		座長 早川 泰弘（東京文化財研究所） 塚本 敏夫（元興寺文化財研究所）
材質・技法	O-011	アマゾナイト製玉類の出土事例と利用形態 ○比佐 陽一郎、松園 菜穂、吉田 東明 Excavated cases and usage of Amazonite beads ○HISA Yoichiro,MATSUZONO Naho,YOSHIDA Tomei
	O-012	材料分析からみた平城京跡出土施釉瓦の特徴 ○小倉 頌子、奥山 誠義、河崎 衣美、山田 隆文、小栗 明彦、大西 貴夫 Characteristics of glazed tiles excavated from Heijokyo ruins based on material analysis ○KOKURA Shoko,OKUYAMA Masayoshi,KAWASAKI Emi,YAMADA Takafumi,OGURI Akihiko,ONISHI Takao
	O-013	千石コレクションの古代中国銅鏡の科学的研究(2) 難波 洋三、種定 淳介、○渡邊 緩子、半田 章太郎、隅 英彦 Scientific study of ancient Chinese bronze mirrors of Sengoku collection 2 NANBA youzou,TANESADA Junsuke,OWATANABE hiroko,HANDA syoutarou,SUMI hidehiko
	O-014	昌寧校洞及び松嶼洞古墳群出土甕の製作技法研究 ○韓 偶琳、朴 芝然 A study on Bits Making technique Excavated from Tumulus of Gyodong and Songhyeon-dong, Changnyeong ○HAN Woorim,PARK Jiyeon
セッション5		座長 沓名 貴彦（国立科学博物館） 渡辺 智恵美（別府大学）
材質・技法	O-015	負ミューオンを用いた非破壊による丁銀の深さ方向分析 ○齋藤 努、竹下 聡史、反保 元伸、土居内 翔伍、橋本 亜紀子、梅垣 いづみ、二宮 和彦、三宅 康博 Non-destructive depth profiling of Chogin silver coins in Edo period with negative muon ○SAITO Tsutomu,TAKESHITA Satoshi,TAMPO Motonobu,DOIUCHI Shogo,HASHIMOTO Akiko,UMEGAKI Izumi,NINOMIYA Kazuhiko,MIYAKE Yasuhiro
	O-016	鑄造シミュレーションによる江戸大仏鑄造技術の解明 ○長柄 毅一、三船 温尚、杉本 和江 Study on casting technology of Edo Daibutsu by casting simulation. ○NAGAE Takekazu,MIFUNE Haruhisa,SUGIMOTO Kazue
	O-017	マイクロサンプリング法と主成分分析による古代金属器の組成的特徴に応じた分類 ○葛巻 徹、小山 慶太、河野 潤、メフォファ マティアス、ドネウス ミハエル、ノイバウアー ウルフガング Classification of ancient metal artifacts depending on compositional characteristics by micro-sampling and principal component analysis ○KUZUMAKI Toru,KOYAMA Keita,KAWANO Jun,MEHOFER Mathias,DONEUS Michael,NEUBAUER Wolfgang
セッション6		座長 齋藤 努（国立歴史民俗博物館） 片多 雅樹（長崎県立埋蔵文化財センター）
産地	O-018	沈船サン＝ディエゴ号積載資料の鉛同位体比分析 ○平尾 良光・上野 淳也・西田 京平・和田 旭史 Provenance Study of Materials of Artifacts in the ‘San Diego’ of wrecked Ship by Lead Isotope Ratio Analysis. ○HIRAO Yoshimitsu,UENO Junya,NISHIDA Kyohei,WADA Akifumi
	O-019	京都で出土した17世紀後半の真鍮材料の産地推定 ○三浦 麻衣子、藤澤 明、平尾 良光、後藤 晃一、石川 優生 Provenance Study of Brass Material Excavated from Remains of Kyoto of the 17th Century ○MIURA Maiko,FUJISAWA Akira,HIRAO Yoshimitsu,GOTO Koichi,ISHIKAWA Yuki
	O-020	ヒスイ製玉類のXRF分析の多変量統計による定量的産地同定法の開発 ○藁科 哲男、田村 朋美、中村 大介、金 奎虎 Application of multivariate statistical methods of XRF analysis to the identification of the source of jade beads. ○WARASHINA Tetsuo,TAMURA Tomomi,NAKAMURA Daisuke,KIM Gyu-ho

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

口頭発表

セッション7		座長 木川 りか（九州国立博物館） 山路 康弘（大分県教育庁）
保存科学	O-021	虎塚古墳の壁画剥落片から分離された微生物の群集構造解析 ○松野 美由樹、片山 葉子、犬塚 将英、稲田 健一、矢島 國雄、佐藤 嘉則 Community analyses of microorganisms isolated from the small pieces of wall paintings in the Torazuka Tumulus ○Matsuno Miyuki,KATAYAMA Yoko,INUZUKA Masahide,INADA Kenichi,YAJIMA Kunio,SATO Yoshinori
	O-022	熱解析を利用した藻類のスチーム処置についての研究 ○栗原 典子、米村 祥央、石崎 武志、平塚 幸人 Study on steam treatment of algae using heat transfer analysis ○KURIHARA Noriko,TONEMURA Sachio,ISHIZAKI Takeshi,HIRATSUKA Yukito
	O-023	アンコール遺跡バイヨン寺院浮き彫りの保存材料に関する研究(7)－WAShクリーニング法の長期的経過観測－ ○河崎 衣美、原 光二郎、松井 敏也、澤田 正昭、井上 才八 Study on the Conservation Materials for Bas Relief of Bayon temple in Angkor Site (7)－The Long-term Observation About Trial of the WASh Cleaning Method－ ○KAWASAKI Emi,HARA Kojiro,MATSUI Toshiya,SAWADA Masaaki,INOUE Saihachi
	O-024	アンコールトムバイヨン寺院主塔の砂盛土基壇の降雨時浸水特性 ○岩崎 好規、福田 光治、小山 倫史、石塚 允雅、中川 武 Seepage characteristics of filled sand foundation mound of main tower of Bayon, Angkor Thom ○IWASAKI Yoshinori,FUKUDA Mitsuharu,KOYAMA Tomofumi,ISHIZUKA Mitsumasa,NAKAGAWA Takeshi
	O-025	大分市高瀬石仏の保存環境調査～その4) 液水拡散係数の異方性を考慮した2次元熱水分移動の数値解析 ○安福 勝、平沼 柊哉、脇谷 草一郎、小椋 大輔、麓 隆行 Evaluation of the conservation environment at the stone buddhas of Takase, Oita, Part 4: Two-dimensional numerical analysis of heat and moisture transfer considering anisotropy of the liquid water diffusivity ○ABUKU Masaru,HIRANUMA Shuya,WAKIYA Soichiro,OGURA Daisuke,FUMOTO Takayuki
セッション8		座長 加藤 和蔵（九州歴史資料館） 池田 朋生（阿蘇市教育委員会）
保存科学・文化財防災	O-026	三次元計測に基づく富山市大山の恐竜足跡化石の劣化評価 ○朽津 信明、酒井 修二、藤田 将人 The degradation state of the dinosaur footprint in Ohyama, Toyama-City, based on 3D measurement. ○KUCHITSU Nobuaki,SAKAI Shuji,FUJITA Masato
	O-027	輸送時に屏風構造を持つ美術品に発生する共振現象に関する基礎的研究 ○和田 浩 The fundamental research for the resonance phenomenon of the art object with folding screen structure during transport ○WADA Hiroshi
	O-028	想定を超える水平加速度をもつ地震波を受けた際の博物館用免震装置の挙動 ○黄川田 翔、和田 浩、矢野 賀一、荻堂 正博 Behavior of museum seismic isolators subjected to earthquake waves with an unexpected large horizontal acceleration ○KIKAWADA Sho, WADA Hiroshi, YANO Yoshikazu, OGIDO Masahiro
	O-029	酒船石遺跡の地盤工学的性質と降雨時の浸透－変形挙動の評価 ○澤田 茉伊、三村 衛 Evaluation of the geotechnical characteristics and seepage-deformation behaviors in the Sakafuneishi site ○SAWADA Mai,MIMURA Mamoru
セッション9		座長 宮路 淳子（奈良女子大学） 中塚 武（名古屋大学）
文化財科学一般	O-030	弥生時代の人々はどんな食事をしていたのだろうか？－唐古・鍵遺跡及び清水風遺跡出土土器の脂質分析－ ○宮田 佳樹、白石 哲也、久保田 慎二、小林 正史、藤田 三郎、柴田 将幹、堀内 晶子、宮内 信雄、松崎 浩之、吉田 邦夫 Lipid analysis in pottery excavated from Karakokagi site ○MIYATA Yoshiki,SHIRAISHI tetsuya,KUBOTA Shinji,KOBAYASHI Masashi,FUJITA Saburo,SHIBATA Masanori,HORIUCHI Akiko,MIYAUCHI Nobuo,MATSUZAKI Hiroyuki,YOSHIDA Kunio
	O-031	火炎土器の用途分析(2)－新潟県六反田南遺跡における脂質(残留有機物)分析－ ○宮内 信雄、堀内 晶子、西田 泰民、高橋 保、宮田 佳樹、吉田 邦夫 Usage analysis of the Flame style pottery (2)－lipid analysis of Rokutanda minami site－ ○MIYAUCHI Nobuo,HORIUCHI Akiko,NISHIDA Yasutami,TAKAHASHI Tamotsu,MIYATA Yoshiki,YOSHIDA Kunio
	O-032	土器残存脂質からみた平安時代の牧における動物利用 ○庄田 慎矢、植月 学、タルボット ヘレン、クレイグ オリヴァー Detecting Animal Use in the Heian Period by Pottery Organic Residue Analysis ○SHODA Shinya,UETSUKI Manabu,TALBOT Helen,CRAIG Oliver
	O-033	弥生前期から古墳前期への湯取り法炊飯の変化：唐古・鍵遺跡の深鍋のスス・コゲ分析 ○小林 正史、藤田 三郎、久保田 慎二、松永 篤知、外山 政子、佐々木 仁志 Changes in the rice cooking methods from Early Yayoi period to Early Kofun period: Based on ceramic use-wear analysis in Karako-kagi site. ○KOBAYASHI Masashi,FUJITA Saburo,KUBOTA Shinji,MATSUNAGA Atsushi,TOYAMA Masako,SASAKI Hitoshi
	O-034	縄文時代早期における瀬戸内海産スミノエガキ ○富岡 直人、大庭 史寛、中田 昌吾 Crassostrea ariakensis from the Seto Inland Sea in the Initial Jomon period ○TOMIOKA Naoto,OBA Fumihito,NAKADA Shogo

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

口頭発表

セッション10		座長 降幡 順子（京都国立博物館） 田村 朋美（奈良文化財研究所）
文化財科学一般	O-035	福岡市内出土トンボ玉の保存科学的研究 ○松園 菜穂、比佐 陽一郎 Conservation scientific study of dragonfly ball excavated in Fukuoka city ○MATSUZONO Naho,HISA Yoichiro
	O-036	福岡県沖ノ島祭祀遺跡出土のカットガラス碗片・切子玉の非破壊蛍光X線分析による起源推定 ○阿部 善也、四角 隆二、中井 泉、福岡 真貴子 Provenance investigation of a facet-cut glass shard and facet-cut glass beads excavated from Okinoshima Ritual Site.No.8 in Fukuoka by nondestructive X-ray fluorescence analysis ○ABE Yoshinari,SHIKAKU Ryuji,NAKAI Izumi,FUKUSHIMA Makiko
	O-037	福岡県沖ノ島祭祀遺跡出土ガラス製玉類の流通に関する考察 ○村串 まどか、阿部 善也、加藤 千里、中井 泉、福岡 真貴子 Study of the distribution of glass beads excavated from Okinoshima Ritual Sites in Fukuoka ○MURAKUSHI Madoka,ABE Yoshinari,KATO Chisato,NAKAI Izumi,Fukushima Makiko
	O-038	化学組成から見た薩摩切子 ○中井 泉、井上 暁子、松本 諒、村串 まどか、中根 総子 Chemical composition of Satsuma cut glass ○NAKAI Izumi,INOUE Akiko,MATSUMOTO Makoto,MURAKUSHI Madoka,NAKANE Fusako
セッション11		座長 脇谷 草一郎（奈良文化財研究所） 小椋 大輔（京都大学）
文化財科学一般	O-039	ヨルダン王国、ウム・カイス遺跡の保存と活用－国際プロジェクトの成果と課題－ ○西浦 忠輝、松本 健、小野 勇 Conservation and Utilization of Umm Qais Historic Site in Jordan – Result of the International Project – ○NISHIURA Tadateru,MATSUMOTO Ken,ONO Isamu
	O-040	文化財を活用したユニークベニューにおける科学調査2－活用科学のための調査報告－ ○松井 敏也、深見 利佐子、河崎 衣美、村野 正景、村上 佳代 Research on the utilization of cultural properties at a unique venue 2－For Utilization Science－ ○MATSUI Toshiya,FUKAMI Risako,KAWASAKI Emi,MURANO Masakage,MURAKAMI Kayo
セッション12		座長 篠藤 マリア（ハイデルベルク大学） 小林 啓（九州歴史資料館）
探査	O-041	島根県益田市スクモ塚古墳の物理探査 ○亀井 宏行、宮前 知佐子、田邊 凌基、岸田 彩、益田市教育委員会 Geophysical survey of Sukumo-zuka burial mound in Masuda city, Shimane, Japan ○KAMEI Hiroyuki,MIYAMAE Chisako,TANABE Ryoki,KISHIDA Aya,MASUDA City Board of Education
	O-042	奈良県ウナベ古墳周濠内部の探査 ○高橋 克壽 Prospection of the moat of the Uwanabe tumulous in Nara prefecture ○TAKAHASHI Katsuhisa

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

ポスター発表

年代測定	P-001	プラント・オパール表面に残留する微細繊維による年代測定法の開発(Ⅲ) ○中村 俊夫、宇田津 徹朗、田崎 博之 Study for the dating method using the fibers remaining on the surface of phytolith(Ⅲ) ○NAKAMURA Toshio,UDATSU Tetsuro,TASAKI Hiroyuki
	P-002	関東地方における弥生時代の穀類利用の年代研究 ○國木田 大、佐々木 由香、山下 優介、守屋 亮、隅田 眞、設楽 博己 Dating research of use of cereals from sites of Yayoi period in the Kanto region ○KUNIKITA Dai,SASAKI Yuka,YAMASHITA Yusuke,MORIYA Ryo,SUMITA Shin,SHITARA Hiromi
	P-003	遺跡出土材を対象とした年輪セルロース酸素・水素同位体比年層内変動の検討 ○中島 公洋、李 貞、中塚 武、渡邊 由美子、田上 高広 Intra-ring variations of cellulose oxygen and hydrogen isotope ratios in archaeologically excavated woods ○NAKASHIMA Kimihiro, Li Zhen, NAKATSUKA Takeshi, WATANABE Yumiko,TAGAMI Takahiro
	P-004	日本産樹木年輪の単年輪 C測定 -AD1158~1436 ○坂本 稔、箱崎 真隆、横山 操、門叶 冬樹、光谷 拓実 Annual radiocarbon dating of Japanese tree rings - from AD1158 to 1436 ○SAKAMOTO Minoru,HAKOZAKI Masataka,YOKOYAMA Misao,TOKANAI Fuyuki,MITSUTANI Takumi
	P-005	東アジアにおける年輪酸素同位体比データの拡充とその利用による年代決定の可能性 ○佐野 雅規、李 貞、箱崎 真隆、SEO Jeong-Wook、CHEN I-Ching、安江 恒、木村 勝彦、中塚 武 Tree-ring oxygen isotope records over East Asia and their dendroarchaeological potential ○SANO Masaki,LI Zhen,HAKOZAKI Masataka,SEO Jeong-Wook,CHEN I-Ching,YASUE Koh,KIMURA Katsuhiko,NAKATSUKA Takeshi
古環境	P-006	プラント・オパール中の遺伝情報に基づいたイネタイプの検討 ○田中 克典、宇田津 徹朗、田崎 博之、上條 信彦、石川 隆二 Rice genotype based on DNA sequences from archaic-rice-phytolith. ○TANAKA Katsunori,UDATSU Tetsuro,TASAKI Hiroyuki,KAMIJYO Nobuhiko,ISHIKAWA Ryuji
	P-007	プラント・オパール中の遺伝情報を利用した稲作史研究手法の構築に向けた学際的研究(Ⅰ) ○宇田津 徹朗、田中 克典、田崎 博之、上條 信彦 The interdisciplinary study for the construction of rice cultivation history research method using genetic information remained inside rice phytolith (Ⅰ) ○UDATSU Tetsuro,TANAKA Katsunori,TASAKI Hiroyuki,KAMIJYO Nobuhiko
	P-008	栽培植物のモモとマメ類の遺体の検討 ○金原 美奈子、金原 裕美子、金原 正明 Examination of peach and legume remains of cultivated plants ○KANEHARA Minako,KANEHARA Yumiko,KANEHARA Masaaki
	P-009	利根川流域の17世紀民家のスダジイについて ○中尾 七重、坂本 稔、箱崎 真隆 Castanopsis wood of 17th-century Minka around the Tone River ○NAKAO Nanae,SAKAMOTO Minoru,HAKOZAKI Masataka
	P-010	関西地方の縄文遺跡より検出されるマメ類の炭化種実と土器圧痕 ○柳原麻子 The seeds of legumes shown as carbonized organic remains and impression on the potsherds unearthed at Jomon archaeological site in Kansai region. ○YANAGIHARA Asako
	P-011	12世紀~18世紀の北海道東部の遺跡でみられる低地利用の様相 ○守屋 豊人 The Study of the Sites at the Eastern Area of Hokkaido to Reveal How to Use the Low-lying Wet Lands between 12th Century and 18th Century. ○MORIYA Toyohito
材質・技法	P-012	ポルトガル船ノッサ・セニョーラ・ダ・グラサ号(1610年沈没)引き揚げ垂鉛インゴットの蛍光X線分析 ○青木 智史、幡鎌 真理 XRF Analysis of a Zinc Ingot from the Portuguese Ship Nossa Senhora da Graça (Sank off Nagasaki in January 1610) ○AOKI Satoshi,HATAKAMA Mari
	P-013	元素分析と残留応力から見た青銅貨の分類に関する研究 ○小林 淳哉、松英 達也、山田 誠、中村 和之 Study on Classification of Bronze Coins from Elemental Analysis and Residual Stress ○KOBAYASHI Junya,MATSUE Tatsuya,YAMADA Makoto,NAKAMURA Kazuyuki
	P-014	考古資料としての金属製指輪 ○比佐 陽一郎、松園 菜穂、沓名 貴彦 Metal rings as archeological materials ○HISA Yoichiro,MATASUZONO Naho,KUTSUNA Takahiko
	P-015	岐阜県可児市所在 熊野古墳出土装飾付き大刀の分析報告(速報) ○杉本 和江、長江 真和、大谷 晃二、川本 耕三、酒井 温子、鈴木 瑞穂 Analysis report of a decorated sword from Kumano Tumulus in Kani City, Gifu Prefecture (flash report) ○SUGIMOTO Kazue,NAGAE Masakazu,OTANI Koji,KAWAMOTO Kozo,SAKAI Haruko,SUZUKI Mizuho
	P-016	志段味大塚古墳出土騎馬武人の復元模造製作 ○塚本 敏夫、初村 武寛、岡田 一郎、小村 眞理、深谷 淳 Restoring imitation production of equestrian warriors excavated from Shidami Otsuka tumulus ○TSUKAMOTO Toshio,HATSUMURA Takehiro,OKADA Ichiro,OMURA Mari,FUKAYA Jun
	P-017	昌寧校洞及び松峴洞古墳群出土武具の製作技法研究 ○朴 芝然、韓 偶琳 A study on Arms Making technique Excavated from Tumulus of Gyodong and Songhyeon-dong, Changnyeong ○PARK Jiyeon,HAN Woorim
	P-018	幕末期の開陽丸と三重津海軍所跡(佐賀)の出土銅製品の組成比較 ○田端 正明 Comparison of the composition of copper relics found at KAIYO Maru and Mietsu Naval Facility Site (Saga) ○TABATA Masaaki
	P-019	数値制御工作機械を用いた彫金文様の再現—幾何学文様の毛彫り特性について— ○小川 圭二、本田 尚善、河嶋 壽一 Reproduction of chasing patterns with a numerically controlled machine tool -Carving characteristics of geometric pattern - ○OGAWA Keiji,HONDA Hisayoshi,KAWASHIMA Hisakazu
	P-021	清洲城下町遺跡出土の「るつぼ」の分析—99A区— ○堀木 真美子、沓名 貴彦、鈴木 正貴、蔭山 誠一 Analysis of crucibles from Kiyosu Castle Town archeological site—99A area— ○HORIKI Mamiko,KUTSUNA Takahiko,SUZUKI Masataka,KAGEYAMA Seiichi

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

ポスター発表

材質・技法	P-022	中世大友府内町跡における非鉄金属生産に関する科学調査 ○沓名 貴彦、坪根 伸也 Scientific research of non-ferrous metal production in the Ruins of the Medieval Otomo Funai ○KUTSUNA Takahiko,TSUBONE Shinya
	P-023	堺環濠都市遺跡における非鉄金属生産に関する科学調査 ○沓名 貴彦、嶋谷 和彦 Scientific research of non-ferrous metal production in the Sakai Kango Toshi Site ○KUTSUNA Takahiko,SHIMATANI Kazuhiko
	P-024	考古遺物に残存する有機質情報を用いた器物の想定復元—船原古墳遺物埋納坑出土鉄釘を対象として— ○小林 啓、加藤 和蔵、甲斐 孝司、西 幸子 Restoration of containers by observation of organic matter attached to iron nails excavated from Funabaru Tomb. ○KOBAYASHI Akira,KATO Kazutoshi,KAI Kouji,NISHI Yukiko
	P-025	民具から用途不明木製品を考える～「軽軟な木材は強度を必要としない部位」は本当か？～ ○高橋 敦、桃井 宏和、久保 光徳、王 健 Considering wooden products of unknown use from old tools ○TAKAHASHI Tsutomu,MOMOI Hirokazu,KUBO Mitsunori,WANG Jian
	P-026	国宝「初音の調度」のうち乱箱、長文箱、短冊箱の構造・技法のX線CT調査 ○渡辺 祐基、川畑 憲子、吉川 美穂、木川 リカ Analysis of the structure and techniques of Midare-bako, Nagafu-bako, and Tanzaku-bako from the Hatsune Maki-e Lacquer Trousseau, a National Treasure from the Tokugawa Art Museum, using X-ray computed tomography ○WATANABE Hiroki,KAWABATA Noriko,YOSHIKAWA Miho,KIGAWA Rika
	P-027	彩色にみる赤色顔料使用の変遷—出雲・石見地域の縄文時代から古墳時代の集落における事例から— ○上山 晶子 Changes in the use of red pigment in coloring—Focusing on cases collected in settlements, from the Jomon period to the Kofun period in the Izumo and Iwami area— ○UEYAMA Shoko
	P-028	別府の古墳から出土したベンガラについて ○志賀 智史 Bengala excavated from tombs of the Kofun period in Beppu,Oita ○SHIGA Satoshi
	P-029	重要文化財 唐招提寺「牛皮華鬘残闕」の彩色調査 ○濱村 美緒、金原 正明、大山 明彦、石田 太一 Analysis of color materials used in “Gohi-keman” of Toshodajji-Temple, Important Cultural Property. ○HAMAMURA Mio,KANEHARA Masaaki,OYAMA Akihiko,ISHIDA Taichi
	P-030	唐代及び奈良時代の繡纈彩色に用いた紫色顔料について—再現へ向けての基礎的研究(2) ○飯沼 春子、曹 智健、朱 若麟 The Purple Pigments Used in Tang Dynasty and Nara Period—Basic Investigation for Reproduction (2) ○IINUMA Haruko,CAO Zhijian,ZHU Ruolin
	P-031	可搬型装置を用いた非破壊オンサイト分析によるムンクの「叫び」の顔料同定 ○阿部 善也、平山愛里、赤城沙紀、中井 泉、THIERRY Ford、VAN DER Snickt Geert、VANMEERT Frederik、JANSSENS Koen Pigment identification of Edvard Munch's “The Scream” by nondestructive onsite analysis using portable instruments ○ABE Yoshinari,HIRAYAMA Airi,AKAGI Saki,NAKAI Izumi,THIERRY Ford,VAN DER Snickt Geert,VANMEERT Frederik,JANSSENS Koen
	P-032	初期洋風画《読書する修道士のいる西洋風俗図》(大分県津久見市所蔵)の彩色材料 ○石川 優生、浅野 ひとみ、山下 俊雄 Painting Materials of 《Two Monks reading in a Landscape》 in the Collection of Tsukumi (Oita Pref.) ○ISHIKAWA Yuki,ASANO Hitomi,YAMASHITA Toshio
	P-033	繊維遺物鑑別のための基礎研究—古代から日本で使用されていた植物繊維の人工炭化による形態変化— ○伊藤 美香、小原 奈津子 Microscopic Study for Identification of Archaeological Fibers—Morphological change by artificial carbonization of Vegetable Fibers used in Japan since ancient times— ○ITO Mika,KOHARA Natsuko
	P-034	船原古墳から出土した有機物の復元に向けた基礎的調査 ○加藤 和蔵、小林 啓、甲斐 孝司 Study on restoration of organic matter excavated from Funabaru tumulus ○KATO Kazutoshi,KOBAYASHI Akira,KAI Kouji
	P-035	薩摩切子の技法・様式と化学組成 ○井上 曉子、中根 総子、松本 諒、村串 まどか、新井 沙季、中井 泉 Technical and stylistic features of Satsuma-kiriko based on recent chemical analysis ○INOUE Akiko,NAKANE Fusako,MATSUMOTO Makoto,MURAGUSHI Madoka,ARAI Saki,NAKAI Izumi
	P-036	ウズベキスタン出土ガラス玉の科学的研究 ○田村 朋美、中村 大介、レウトバ マリーナ Scientific analysis on the glass beads found in Uzbekistan. ○TAMURA Tomomi,NAKAMURA Daisuke,REUTOVA Marina
	P-037	中世アイヌ文化期におけるガラス玉の時期変遷に関する予備研究 ○高橋 美鈴、田村 朋美 A pilot study on the transition of glass beads during the medieval Ainu culture. ○TAKAHASHI Misuzu,TAMURA Tomomi
	P-038	光ルミネッセンス法を用いた縄文土器資料の焼成温度推定 ○下岡 順直、大場 正善 Assessment on firing temperature of Jomon pottery using OSL method ○SHITAOKA Yorinao,OBA Masayoshi
	P-039	レプリカ法による縄文時代の鱗茎圧痕の同定方法の開発と利用例 ○佐々木 由香、米田 恭子 Development and application of an identification method of bulb impressions of the Jomon periods using a replica method ○SASAKI Yuka,YONEDA Kyoko
	P-040	縄文土器の実験考古学的研究—「地縄文技法(地紋)」による土器ペースト整形・修復過程— ○中塚 良 Experimental and Interpretative Archaeology of Jomon Pottery—Formation/Repair process by “JIMON” as both technique of Rolling and Pasting Dislocation— ○Nakatsuka Ryo

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

ポスター発表

材質・技法	P-041	テラヘルツ分光による三重県内出土陶片の焼成温度推定 ○新島 聖治、谷口 弘明、川瀬 晃道 Estimation of Firing Temperature of Pottery Pieces Excavated from Mie Prefecture by Terahertz Spectroscopy ONIJIMA Seiji,TANIGUCHI Hiroaki,KAWASE Kodo
	P-042	陶磁器製作に使われる糊の効果 ○樋口 智寛、水本 和美、新免 歳靖、二宮 修治 Effect of the organic materials used for ceramic production OHIGUCHI Tomohiro,MIZUMOTO Kazumi,SHINMEN Toshiyasu,NINOMIYA Shuji
産地	P-043	須恵器と土師器の粘土採取地に関する基礎研究 ○神野 恵、安達 智彦、神屋 道也、金田 明大、村田 泰輔、田中秀弥、降幡 順子、 Fundamental study on the selections of clay used for Sue ware and Haji ware OJINNO Megumi,ADACHI Tomohiko,Kamiya Michinari,KANEDA Akihiro,MURATA Taisuke,TANAKA Hideya,FURIHATA Junko
	P-044	周防鎗銭司跡出土資料の自然科学的調査結果 ○齋藤 努、青島 啓、齊藤 大輔、森福 洋二、永畠 真理子、今岡 照喜、田中 晋作 Scientific analyses on relics excavated from Suo-juzenji ruins OSAITO Tsutomu,AOSHIMA Kei,SAITO Daisuke,MORIFUKU Yoji,NAGASHIMA Mariko,IMAOKA Teruyoshi,TANAKA Shinsaku
	P-045	鉛同位体比による大友氏遺跡から出土した金属製品の産地推定 ○三浦 麻衣子、藤澤 明、平尾 良光、後藤 晃一、石川 優生 Provenance Study of Metal Products Excavated from Otomo Archaeological Site by Lead Isotope Ratio OMIURA Maiko,FUJISAWA Akira,HIRAO Yoshimitsu,GOTO Koichi,ISHIKAWA Yuki
	P-046	たたら製鉄に用いられた砂鉄の産地同定－磁鉄鉱形態及び化学分析－ ○渡邊 正巳、奥中 亮太、辻本 彰、 Identification of iron sand used in tatara iron manufacturing – Morphology and chemical analysis of magnetite – OWATANABE Masami,OKUNAGA Ryota,TSUJIMOTO Akira
	P-047	先史土器の粘土産出地推定のための鉱物・粘土素地のSr-Nd-Pb安定同位体比分析 ○石丸 恵利子、申 基澈、信里 芳紀、富井 眞 Sr-Nd-Pb stable isotope ratio analysis of mineral and clay of prehistoric pottery texture for their source identification OISHIMARU Eriko,SHIN Ki-cheol,NOBUSATO Yoshiki,TOMI Makoto
	P-048	イオウ同位体比分析による列島産アスファルトの原産地推定 ○上條 信彦、高橋 和也、南 武志 Identification of the sources of bitumen using sulfur isotope ratio in Japan OKAMIJO Nobuhiko,TAKAHASHI Kazuya,MINAMI Takeshi
	P-049	東日本を中心とした遺跡出土琥珀の産地推定 ○植田 直見、渡邊 緩子 Provenance study of amber excavated from the sites around east Japan OUEDA Naomi,WATANABE Hiroko
保存科学	P-051	文書館の臭気原因物質について ○西田 典由、大橋 俊平、渡辺 智恵美 Odor-causing substances in the archives ONISHIDA Noriyoshi,OHASHI Syunpei,WATANABE Chiemi
	P-052	AE法による壁画の劣化予知の基礎研究：温度変化に応じて発生するAE信号の特徴解析 ○周 怡杉、松井 敏也、劉 成、王 飛、孫 剣 Basic study on prediction of deterioration of mural painting by AE method: feature of AE signal generated in response to temperature change OZHOU Yishan,MATSUI Toshiya,LIU Cheng,WANG Fei,SUN Jian
	P-053	ポンペイ遺跡「アポロの家」における壁画クリーニング法の施工実験 ○前川 佳文、モニカ マルテッリ カスタルディ、ガイド ボッティチェッリ、ステファニーア フランチェスキニ、ルイーダ ソロルドーニ Construction experiment for surface cleaning of wall painting at “Casa di Apollo” in the archaeological site of Pompei OMAEKAWA Yoshifumi,MONICA Martelli Castaldi,GUIDO Botticelli,STEFANIA Franceschini,LUIGI Soroldoni
	P-054	X線透過撮影による泥に覆われたキトラ古墳壁画の調査 ○大塚 将英、早川 典子、大場 詩野子、早川 泰弘、高妻 洋成 Investigation of the Wall Paintings of Kitora Tumulus by X-ray Radiography OINUZUKA Masahide,HAYAKAWA Noriko,OBA Shinoko,HAYAKAWA Yasuhiro,KOUZUMA Yousei
	P-055	黄蘗を用いた有機質文化財の劣化状態の指標化と劣化メカニズムに関する研究 ○佐々木 良子、深江 亮平、佐々木 健 Study on indexing of deterioration state of cultural organic materials and their deterioration mechanism using Amur cork tree OSASAKI Yoshiko,FUKAE Ryohei,SASAKI Ken
	P-056	裏打ち層にみられる紙の緑青焼け ○貴田 啓子、柏谷 明美、稲葉 政満、早川 典子 Paper deterioration of lining layer by malachite corrosion OKIDA Keiko,KASHIWAYA Akemi,INABA Masamitsu,HAYAKAWA Noriko
	P-057	鳥取県立博物館におけるフィルム資料の劣化調査 神庭 幹尚、○李 素妍、福代 宏、大嶋 陽一 Investigation of deterioration of film materials in Tottori prefectural museum KANBA Mikihisa,OLEE Soyoun,FUKUSHIRO Hiroshi,OOSHIMA Youichi
	P-058	名越切通における軽量擬岩を用いた保存工事 ○小林 恵、橋本 直樹、高松 誠、増井 義彦 Preservation work using lightweight artificial rock in Nagoe Kiridoshi OKOBAYASHI Megumi,HASHIMOTO Naoki,TAKAMATSU Makoto,MASUI Yoshihiko
	P-059	元町石仏における脱塩を用いた塩類風化抑制手法に関する研究－浸透現象による脱塩の利用可能性の検討－ ○高取 伸光、小椋 大輔、脇谷 草一郎、安福 勝、桐山 京子、高妻 洋成 Study on suppressing salt damage of the Buddha statue carved into the cliff at Motomachi－Investigation of the desalination method by using osmosis－ OTAKATORI Nobumitsu,OGURA Daisuke,WAKIYA Soichiro,ABUKU Masaru,KIRIYAMA Kyoko,KOUZUMA Yousei
	P-060	甲子園会館に用いられる凝灰岩外装材の保存に関する研究－現地環境条件調査と物性値測定による劣化メカニズムの検討－ 山田 皓貴、○伊庭 千恵美、宇野 朋子、福井 一真、小椋 大輔 Study on Conservation of Tuff Stones used as Exteriors at Koshien Hall－Investigation of deterioration mechanisms by measuring environmental conditions and hygrothermal properties－ YAMADA Koki,OIBA Chiemi,UNO Tomoko,FUKUI Kazuma,OGURA Daisuke

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

ポスター発表

保存科学	P-061	砂岩に対するアクオ-シロキサン法による水分保持特性への影響 ○松下 由香里、富田 克敏、小畑 三千代、佐藤晃 Water Retention Characteristics of Aquo-Siloxane Method Aimed for Sandstone ○MATSUBISHI Yukari,TOMITA Katsutoshi,OBATA Michiyo,SATO Akira
	P-062	電気化学的脱塩工法を用いた煉瓦の脱塩への試み ○深見 利佐子、松井 敏也、川本 真由美 Challenge of desalination of single brick by using method for electrochemical desalination ○FUKAMI Risako,MATSUI Toshiya,KAWAMOTO Mayumi
	P-063	約5年間屋外暴露した葺込銅板のあるこけら葺屋根モデルの劣化状態と銅元素分布 ○藤原 裕子、藤井 義久、高妻 洋成 Degradation and copper distribution on a traditional Japanese style shake roof model inserted copper plates after 5-years outdoor exposure test ○FUJIIWARA Yuko,FUJII Yoshihisa,KOUZUMA Yousei
	P-064	擬似出土木材の保存処理(2) ○山口 繁生 Conservation of artificial waterlogged wood II. ○YAMAGUCHI Shigeo
	P-065	出土木材のマイクロ波加熱凍結乾燥法による保存処理の研究7 ○川本 耕三、大橋 有佳、山口 繁生 Study on conservation of waterlogged wood using freeze-drying method with microwave heating 7 ○KAWAMOTO kozo,OHASHI Yuka,YAMAGUCHI Shigeo
	P-066	出土遺物の保存処理に使用されるポリエチレングリコールの低分子化に金属イオンが関与する可能性について ○鷲津 未来、米村 祥央 Study on the Possibility of Metal Ions Effect on the PEG Degradation Applied for Archeological Artifacts ○WASHIZU Miku,YONEMURA Sachio
	P-067	トレハロース含浸処理法による大型木製品の保存処理例～諫早市指定文化財「唐比のくり舟」の保存処理～ ○水吉 優子、野澤 哲朗、新井 実和、片多雅樹 Conservation example of large wooden object using Trehalose method ～The case of Isahaya City's designated cultural property, "Dugout canoe from KARAKO"～ ○MIZUYOSHI Yuko,NOZAWA Tetsuro,ARAI Miwa,KATATA Masaki
	P-068	出土木製品保存処理の省コスト化・省エネルギー化に向けた研究(その6)ー大型製品用太陽熱集熱含浸処理装置の開発と実施ー ○伊藤 幸司、藤田 浩明、北村 良輔、安木 由美、今津 節生、池田 榮史 Study of saving cost and energy of waterlogged wood conservation treatment (6)ーDevelopment and implementation of solar thermal collectors for large objectー ○ITO Kouji,FUJITA Hiroaki,KITAMURA Ryosuke,YASUKI Yumi,IMAZU Setsuo,IKEDA Yoshifumi
	P-069	トレハロース含浸処理法における含浸と結晶化のイメージ(その3)ー資料中で固化したトレハロースの状態の観察ー ○伊藤 幸司、小林 啓、三宅 章子 Study of impregnation and crystallization in trehalose method (3)ーObservation of the state of trehalose solidified in the objectー ○ITO Kouji,KOBAYASHI Akira,MIYAKE Akiko
	P-070	金属錆の酸化および潮解性の制御を目的としたトレハロースの効果 ○杉浦 正和、今津 節生 Effect of trehalose for controlling oxidation and deliquescence of metal rust ○SUGIURA Masakazu,IMAZU Setsuo
	P-071	トレハロースの非晶質化を用いた木簡削り屑の保存処理 ○小林 啓、伊藤 幸司 Treatment of wood shavings using amorphization of trehalose ○KOBAYASHI Akira,ITO Kouji
	P-072	キレート剤・DTPAを用いた出土木材の脱鉄処理に関する基礎的研究 ○島袋 花子、今津 節生 Basic study on iron extraction from archaeological wood with chelates DTPA ○SHIMABUKURO Hanako,IMAZU Setsuo
	P-073	保存処理後の出土漆製品の塗膜における劣化の研究 ○六川 慧美、服部 哲則 The study of deterioration in lacquer films quality after conservation treatments ○OROKUGAWA Satomi,HATTORI Akinori
	P-074	複数の機関で同一個体の破片を保管している文化財の修復事例 ○尾崎 誠、山岡 奈美恵、岡田 一郎、塚本 敏夫、品川 欣也、井上 洋一、藤田 充子 Example of restoration of cultural properties whose fragments are stored in several institution ○OZAKI Makoto,YAMAOKA Namie,OKADA Ichiro,TSUKAMOTO Toshio,SHINAGAWA Yoshiya,INOUE Yoichi,FUJITA Mitsuko
文化財科学一般	P-075	アイヌ民族資料におけるイタオマテツ(板綴舟)の保存修復 ○大江 克己、山口 翔太郎、山田 哲也、中井 貴規、竹内 隼人、赤田 昌倫、鈴木 建治、藪中 剛司、三浦 博哉、佐々木 史郎 Conservation and restoration of the itaomacip in Ainu ethnic materials ○OE Katsuki,YAMAGUCHI Syotarou,YAMADA Tetuya,NAKAI Takanori,TAKEUCHI Hayato,AKADA Masanori,SUZUKI Kennji,YABUNAKA Takeshi,MIURA Hiroya,SASAKI Shirou
	P-076	材料の特性を活かした複製品制作の方法ー大分市大友氏館跡庭園遺構整備景石複製品ー ○撫養 健至、平田 智計、西村あかね、佐藤 道文 Methods of replicating that utilize the characteristics of the materialsーReplica of landscape stones in the Ruin of the Garden, Otomo Yakata, in Oita cityー ○MUYA Kenji,HIRATA Tomokazu,NISHIMURA Akane,SATO Michihumi
	P-077	奈良盆地の弥生・古墳時代の煮炊き用土器の形態属性の時間的变化 ○小林 正史、藤田 三郎、佐々木 仁志 Temporal changes in Morphological Attributes of Yayoi and Kofun Cooking Pots in Nara Basin ○KOBAYASHI Masashi,FUJITA Saburo,SASAKI Hitoshi
	P-078	国宝「金印」の詳細観察 ○比佐 陽一郎、松園 菜穂、宮田 洋平、新 啓太郎、遠藤 喜代志 Observation of National Treasure 'Kin-in'(Gold Seal) ○HISA Yoichiro,MATASUZONO Naho,Miyata Yohei,SHIN Keitaro,ENDO Kiyoshi
	P-079	古墳時代の南部九州における錫製品 ○比佐 陽一郎、松園 菜穂、橋本 達也、中野 和浩 Tin products in South Kyusyu during the Kofun period ○HISA Yoichiro,MATSUZONO Naho,HASHIMOTO Tatsuya,NAKANO Kazuhiro

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

ポスター発表

文化財科学一般	P-080	化学組成からみた北方世界のガラス流通に関する研究 ○村串 まどか、新井 沙季、中井 泉、中村 和之 Study of the distribution of glass beads in the northern world (Hokkaido and the Russian Far East) focused on the chemical composition ○MURAKUSHI Madoka, ARAI Saki, NAKAI Izumi, NAKAMURA Kazuyuki
	P-081	奈良女子大学所蔵正倉院模造宝物紅牙撥鏤尺に用いられた色材と染色技術に関する研究 ○六車 美保、田口 智子、的場 美帆、杉原 裕子、桐野 文良、奥田 紫乃、岡嶋 克典、宮路 淳子 Study on Reproduction of Shosoin imperial treasures, on the dyeing material and technique of Red-stained ivory shaku ruler with bachiru decoration (Nara Women's University Collection) ○MUGURUMA Miho, TAGUCHI Tomoko, MATOBA Miho, SUGIHARA Yuko, KIRINO Fumiyoshi, OKUDA Ayano, OKAJIMA Katsunori, MAYAJI
	P-082	古代東アジアにおけるミツロウの検討(1):ミツバチ種とミツロウのバイオマーカー ○堀内 晶子、宮内 信雄、吉田 邦夫、松崎 浩之、金原 裕美子、宮田 佳樹 The studies of beeswax in ancient East Asia (1): Honey bee species and beeswax biomarker ○HORIUUCHI Akiko, MIYAUCHI Nobuo, YOSHIDA Kunio, MATSUZAKI Hiroyuki, KANEHARA Yumiko, MIYATA Yoshiki
	P-084	寛永期における東南アジア産輸入漆塗料の使用に関する新発見 ○本多 貴之、永井 義隆、増田 隆之介、宮腰 哲雄、島田 豊、坂井 輝久、北野 信彦 New findings on the use of imported lacquer paints from Southeast Asia during the Kan-ei period ○HONDA Takayuki, NAGAI Yoshitaka, MASUDA Ryunosuke, MIYAKOSHI Tetsuo, SHIMADA Yutaka, SAKAI Teruhisa, KITANO Nobuhiko
	P-085	三極紙の酸化劣化に及ぼす煮熱剤の影響 ○曹 智健、稲葉 政満 The Effect of Cooking Agents on the Oxidative Deterioration of Mitsumata Paper ○CAO Zhijian, INABA Masamitsu
	P-086	オランダ東インド会社の記録文書の調査 ○坂本 昭二 Research on Record Documents of Dutch East India Company ○SAKAMOTO Shouji
	P-087	敦煌莫高窟第464窟出土のウイグル文書のデジタル顕微鏡による非破壊分析 ○坂本 昭二 Nondestructive Paper Analysis of Uyghurs Documents from Dunhuang Mogao Cave 464 using Digital Microscope ○SAKAMOTO Shouji
	P-088	和紙の界面と表面特性に関する基礎研究 ○金 旻貞、宇都宮 正紀 Basic research on interface and surface characteristics of Japanese paper ○KIM Minjung, UTSUNOMIYA Masaki
	P-089	蛍光X線分析における分析値の信頼性—金箔試料の定量分析に関する共同実験— ○早川 泰弘、田村 朋美、脇谷 草一郎、犬塚 将英、荒木 巨紀、降幡 順子、渡邊 緩子 Reliability of analytical results by XRF—Round robin test for quantitative analysis of gold foil samples— ○HAYAKAWA Yasuhiro, TAMURA Tomomi, WAKIYA Soichiro, INUZUKA Masahide, ARAKI Tominori, FURIHATA Junko, WATANABE Hiroko
	P-090	奈良絵本で使用されている銅系顔料のX線分析 森 拓己、○藤原 学 X-ray Analysis of copper pigments used in Nara-e hon MORI Takumi, ○FUJIWARA Manabu
	P-091	可視・近赤外ハイパースペクトル・イメージングを用いた彩色調査 ○山田 卓司、北野 信彦 The Visible and Near-Infrared Hyperspectral Image Analysis of the Colored Pictures ○YAMADA Takashi, KITANO Nobuhiko
	P-092	放射光X線吸収端差分法による大原美術館所蔵アンリ・マティス《マティス嬢の肖像》の非破壊元素イメージング ○堀口 明日馨、阿部 善也、塚本 貴之、孝岡 睦子、星野 真人、上杉 健太郎、八木 直人、塚田 全彦、中井 泉 Nondestructive element imaging of Henri Matisse's "Portrait of Mademoiselle Matisse" in the collection of Ohara Museum of Art using synchrotron radiation X-ray absorption edge differential technique ○HORIGUCHI Asuka, ABE Yoshinari, TSUKAMOTO Takayuki, TAKAOKA Chikako, HOSHINO Masato, UESUGI Kentaro, YAGI Naoto, TSUKADA Masahiko, NAKAI Izumi
	P-093	アンコール遺跡の砂岩材表面に析出した石こうに対するSrおよびS同位体分析 ○内田 悦生、河西 彩、中村 勇太、申 基澈 Sr and S isotope analyses of gypsum deposited on sandstone surface in the Angkor monuments ○UCHIDA Etsuo, KAWANISHI Aya, NAKAMURA Yuta, Shin Ki-Cheol
	P-094	碎屑物と土壌から塩類風化を判断する方法 ○星野 玲子 The method to judge the salts weathering from the detritus and the soil ○HOSHINO Reiko
	P-095	石造文化財の現場における透水性評価法に関する基礎的研究 ○荒木 徳人、石崎 武志 Fundamental study to evaluate the permeability of stone cultural properties on site ○ARAKI Naruto, ISHIZAKI Takeshi
	P-096	出土植物灰ガラスにみられる風化現象の検討 ○遠藤 綾乃、RANTE Rocco、新免 蔵靖、二宮 修治 Weathering phenomena on excavated plant ash glasses ○ENDO Ayano, RANTE Rocco, SHINMEN Toshiya, NINOMIYA Shuji
	P-097	海外の美術館等に所蔵された東アジアの木彫像の樹種調査 ○田鶴 寿弥子、杉山 淳司 Wood identification of East Asian wood statues preservation in foreign countries ○TAZURU Suyako, SUGIYAMA Junji
	P-098	年輪年代学的手法による平城宮第一次大極殿院西樓出土木簡の同一材推定 ○星野 安治、桑田 訓也、山本 祥隆 Dendrochronological Analysis of Wooden Tablets Excavated from West Building of the First Imperial Audience Hall Compound ○HOSHINO Yasuharu, KUWATA Kuniya, YAMAMOTO Yoshitaka
	P-099	ファイバースコープによる木造毘沙門天立像(島根県奥出雲町岩屋寺旧蔵)の調査 ○鳥越 俊行、岩田 茂樹、岩井 共二、山口 隆介、ロバート シンガー、安藤 真理子、 Investigation of Standing Bishamonten statue using fiberscope (Formerly owned by Iwaya-ji Temple, Okudazumo-cho, Shimane Pref.) ○TORIGOE Toshiyuki, IWATA Shigeki, IWAI Tomoji, YAMAGUCHI Ryusuke
	P-100	埼玉県北本市デーノタメ遺跡出土縄文時代の漆塗腕輪X線CT観察事例報告 ○石原 道知、荒木 臣紀、宮田 将寛、齊藤 成元、中野 稚里、磯野 治司 Observational case study using X-Ray CT on a Jomon period bangle from Denotame site, Kitamoto city, Saitama Prefecture ○ISHIHARA Michitomo, ARAKI Tominori, MIYATA Masahiro, SAITOU Narimoto, NAKANO Chisato, ISONO Haruji

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

ポスター発表

文化財科学一般	P-101	三次元計測を応用した同型鏡鑄造実験 ○水野 敏典、わけびき 真澄、古谷 毅、岡林 孝作、奥山 誠義、北井 利幸、山田 隆文 The Casting experiment of "Same-mold mirror" in application of 3D scanning data OMIZUNO Toshinori,WAKEBIKI Masumi,FURUTA Takashi,OKABAYASHI Kousaku,OKUYAMA Masayoshi,KITAI Toshiyuki,YAMADA Takafumi
	P-102	京焼登り窯の三次元計測②ー上田恒次窯の事例ー ○ナワビ 矢麻、木立 雅朗、田畑 幸嗣、余語 琢磨 The 3D modeling of kyoto style climbing kilnーThe case of Ueda Tsuneji's kilnー ONAWABI Yama,KODACHI Masa'aki,TABATA Yukitsugu,YOGO Takuma
	P-103	神戸製鋼神戸製鉄所第3高炉における三次元記録活動 ○岡本 篤志、貝柄 徹、二階堂 達郎 Three-Dimensional Records of the No.3 blast furnace at Kobe Steel's Kobe Works OOKAMOTO Atsushi,KAIGARA Toru,NIKAIDO Tatsurou
	P-104	フォトグラメトリーによる三次元計測データの比較 ○中村 亜希子 Comparison Approach to the Variability of Photogrammetric 3D Measurement Data ONAKAMURA Akiko
	P-105	土器のSfM-MVS計測効率化にむけた試行 ○金田 明大 To improve the efficiency measurement of pottery by SfM-MVS OKANEDA Akihiro
	P-106	Reflectance Transformation Imagingを使った考古資料の記録における再現性に関する研究 齋藤 理寿、○片岡 太郎 A study on the reproducibility of records on the archeological materials using reflectance transformation imaging SAITO Masatoshi,OKATAOKA Taro
	P-107	VRによる博物館で発掘調査現場を体感する試みー船原古墳1号土坑を事例としてー ○加藤 和蔵、村上 浩明、武蔵 佑二、石丸 凌、宮田 慶彦、小林 啓、甲斐 孝司 Investigation of experience the site using VR at museum ーA case of No.1 pit in Funabaru Tumulusー OKATO Kazutoshi,MURAKAMI Hiroaki,TAKEHIRO Yuji,ISHIMARU Ryo,MIYATA Yoshihiko,KOBAYASHI Akira, KAI Koji
	P-108	デジタルカメラによる赤外線撮影の試みー横穴墓を対象として ○石松 直 Preliminary report of infrared photography using digital camera for tunnel tomb OISHIMATSU Tadashi
	P-109	色差分析・調整による損傷木簡解読のための改善方法の研究 ○柳 成煜、俞 祐植 Improvement of decoding characters from damaged wooden tablets by color difference analysis and adjustment ORYU Sungwook,YOO Woo Sik
	P-110	中国義県・奉国寺大雄殿に描かれた壁画のハイパースペクトル画像解析 ○末森 薫、劉 成、王 琚、劉 逸堃、安室 喜弘 Hyperspectral imaging analysis on the mural paintings depicted in Daxiong Hall of Fengguo temple, Yixian, China OSUEMORI Kaoru,LIU Cheng,WANG Jun,LIU Yikun,YASUMURO Yoshihiro
	P-111	エジプト新王国時代ビーズ付き布の考古化学分析 ○横山 操、白勢 洋平、村上 由美子 Analysis of an Egyptian blue beaded cloth from Kyoto University Museum OYOKOYAMA Misao,SHIROSE Yohei,MURAKAMI Yumiko
	P-112	エジプト中王国時代ミイラ布断片の繊維分析 ○横山 操、高谷 光 Analysis of a mummy cloth fragment from Kyoto University Museum OYOKOYAMA Misao,TAKAYA Hikaru
	P-113	文化財の多様な記録を結ぶ超域情報基盤の検討 ○山口 欧志 Interdisciplinary information infrastructure for various records of cultural properties OYAMAGUCHI Hiroshi
	P-114	文化財建造物における障壁画の保存・公開に関する研究ー設置環境下における模擬戸襖内温湿度の年間分析ー ○陶器 美詠、小椋 大輔、岡村 知明、伊庭 千恵美 Study on conservation and exhibition of Sliding Screen Paintings in Cultural PropertiesーAnnual analysis of current temperature and humidity behavior in simulated Tobusuma under installation environmentー OTOKI Mie,OGURA Daisuke,OKAMURA Tomoaki,IBA Chiemi
	P-115	法隆寺金堂収蔵庫における壁画の保存・公開に関する研究ー数値解析による小屋裏の吸放湿を用いた室の除湿による環境調整方法の検討ー ○和田 拓也、小椋 大輔、佐野 千絵、木川りか、和田 浩、吉田 直人、鉾井 修一、伊庭 千恵美 Study on conservation and exhibition of burnt wall paintings in main hall, in treasure house at Horyu-ji temple ーinvestigation of environmental control method using a room-dehumidifying system with adsorption and desorption property of the attic space by numerical calculationー OWADA Takuya,OGURA Daisuke,SANO Chie,KIGAWA Rika,WADA Hiroshi,YOSHIDA Naoto,HOKOI Shuichi,IBA Chiemi
	P-116	博物館の収蔵室における夏季の高湿化の要因と除湿対策 石川 和輝、○伊庭 千恵美、小椋 大輔、鉾井 修一、横山 操、 Factors of high-humidity in Summer and Trial of dehumidification in Storage Room in a Public Museum ISHIKAWA Kazuki,OIBA Chiemi,OGURA Daisuke,HOKOI Shuichi,YOKOYAMA Misao
	P-117	一般建物の文化財収蔵利用のための環境調整に関する研究 その2: 一般建物の熱的、湿气的特性調査の事例評価 ○芳賀 文絵、小椋 大輔 Study on the Environmental Control Method for the Use of General Building as a Cultural Property Storage Room Part 2: Evaluation of Characteristics of Temperature and Humidity as a Case Study in General Building OHAGA Ayae,OGURA Daisuke
	P-118	土蔵の扉を開く 土蔵による文化財・宝物等の保存・保管の効用と推進を考える ○高木 秋生 Open the storehouse I wish to record various Important terms necessary for the storage constr and to find how we should conserve the culturalvaluables in the storage OTAKAGI shusei
	P-119	誰でもどこでも容易に創出できる防虫および湿度安定空間ー小さな収蔵庫ー ○魚島 純一 The Insect proof and humidity stable space that anyone can easily create anywhere OUOSHIMA Jun'ichi

日本文化財科学会 第37回大会プログラム

ポスター発表

文化財科学一般	P-120	歴史的木造建造物の殺虫を目的とした加湿温風処理時における温湿度制御条件に関する研究－実験による木材内部の温湿度挙動の把握－ ○小椋 大輔、野村 暁里、北原 博幸、藤井 義久 A study on temperature and humidity control conditions in humidified hot air treatment for insecticide in historic wooden buildings－ Investigation of temperature and humidity behavior inside wood by experiment－ ○OGURA Daisuke,NOMURA Akari,KITAHARA Hiroyuki,FUJII Yoshihisa
	P-121	博物館内移動用の除振手押台車の開発研究(1) ○塚本 敏夫、雨森 久晃 Development of anti-vibration carrier for transportation in museum ○OTSUKAMOTO Toshio,AMENOMORI Hisateru
	P-122	地震で被災した釜尾古墳の一時的保護を目的とした保護シートによる墳丘の乾燥抑制に関する研究 ○中川 正貴、小椋 大輔、澤田 茉伊 Study on Prevention of Mounds from Drying by Protective Seat in Kamao Tumulus for Temporary Preservation Damaged by The 2016 Kumamoto Earthquake ○NAKAGAWA Masataka,OGURA Daisuke,SAWADA Mai
	P-123	史跡石貫穴観音横穴の保存環境調査と保存処置の評価について ○末永 崇、山路 康弘 About the evaluation of preservation environmental research and the preservation measures of Ishinuki ana Kannon cave ○SUENAGA Takashi,YAMAJI Yasuhiro
	P-124	北海道太平洋沿岸地域における縄文文化期の古食性 ○村本 周三、宮内信雄、堀内晶子、吉田邦夫、宮田 佳樹 Paleo diet of Epi-Jomon in the Pacific Ocean coastline of Hokkaido ○MURAMOTO Shuzo,MIYAUCHI Nobuo,HORIUCHI Akiko,YOSHIDA Kunio,MIYATA Yoshiki
	P-125	糸里境界における戦国時代「埋桶」遺構の文化財科学的研究－京都盆地中西部・久々相遺跡を例に－ 中塚 良、早瀬 亮介、松井 隆幸、高橋 敦、○辻本 裕也 The Study of Late Medieval Cultural Property for Buried Tub Features on Boundary Lines of “Jori” as Historic Agricultural System,－ KUGUSOU Site,Middle Central Area of Kyoto Basin. NAKATSUKA Ryo,HAYASE Ryosuke,MATSUI Takayuki,TAKAHASHI Tsutomu,○TSUJIMOTO Yuuya
探査	P-126	盛岡城の石垣における地中レーダ探査 ○高瀬 尚人、小林 恵、似内 啓邦 Ground Penetrating Radar in the stone walls of Morioka Castle ○TAKASE Naoto,KOBAYASHI Megumi,NITANAI Yoshikuni
文化財防災	P-127	社寺等における立体的な文化財資料の減災－シミュレーションを利用した転倒防止対策－ ○降幡 順子、中屋 菜緒、近藤 無滴 Research the Disaster Risk Reduction in 3 dimensional Work－Simulation and Fall Prevention－ ○FURIHATA Junko,NAKAYA Nao,KONDO Muteki
	P-128	大津波で被災した地籍図の脱塩処理について－陸前高田市立博物館所蔵品の修理報告から ○金 旻貞、田畔 徳一、宇都宮 正紀、浅川 崇典 Desalination Treatment of Cadastral Map Damaged by the Tsunami－Report on the repair of the collection of Rikuzentakata City Museum ○KIM Minjung,TAGURO Tokuchi,UTSUNOMIYA Masaki,ASAKAWA Takanori
	P-129	地域の歴史文化財保存のためのハザードマップ ○李 素妍 Hazard map for preserving local historical and cultural properties ○LEE Soyeon
	P-130	博物館・美術館における災害リスク軽減に向けた異業種間連携の試み ○黄川田 翔 An attempting to collaborate across various industries for disaster risk reduction in museum ○OKIKAWADA Sho

ワーキンググループ

石造文化財の保存修復ワーキンググループ	代表者: 石崎 武志
第4回土器科学分析研究会	代表者: 宮田 佳樹
東アジア文化遺産保存学会日本支部	代表者: 今津 節生

企業紹介リンク

アイクォーク 株式会社 (IQUARK CORPORATION.)
株式会社 新興精機 (Shinkouseiki.co.,Ltd.)
株式会社 パレオ・ラボ (Paleo Labo Co.,Ltd.)
株式会社 ミツワフロンテック (MITSUWA FRONTECH CORP.)
株式会社 リガク (Rigaku Corporation.)

※企業広告は巻末にあります